

文芸大賞

水たまりの空

雨がぽつぽつ落ちて
窓に細い水の線を描く

外はしずかで
わたしの心も しずかに落ち着く

水たまりに映る空は
ふだんより大きくて
歩きたびに 小さく揺れる光

各務原市立桜丘中学校一年 篠田 千百合

優秀賞

感情

高山市立松倉中学校一年 榎坂 歌南実

空が青にそまるとき
空はわらっているのかな。
空が赤にそまるとき
空はおこっているのかな。
空が黒にそまるとき
空はねむたくなるのかな。
空がわたしをみてるとき
空はなにを思うだろう。
わたしが空をみてるとき
わたしはなにを思うだろう。
あの子が空をみてるとき
あの子はなにを思うだろう。
わたしとあの子がいつしよにみた空は
いつの日の空だろう。

優秀賞

蒼穹

各務原市立鵜沼中学校一年 八木心音

光る。

瓶に蒼穹を封じ込めた
ラムネが。

蒼穹を彩る入道雲は
非常に、非常に
夏を感じさせた。

その空はまるで
鯨が踊っているように
綺麗だった。